

〔評論『日本および日本人』の指摘(①項)と、約半世紀後の今日的情況(下式及び②項)〕

「文化衰退による型(E)摩耗」が招く今日の末路・・・「祓ひ清めて和に達する」—「祓ひ清めてE」=「形骸化した和」。

* 我が國民(大衆:△粹)は、「形骸化した和」に呪縛され、①項の「近代化適應異常」のみならず、上式即ち②項の「病膏肓に入る」近代化適應異常を更に引き起こしてゐる。

* 以下圖は、①②各項に於けるその「關係論」、つまり、言葉(潜在物F)の裏にある關係(實在物D1)と、關係・實在物たらしめる場(C又はC')、そして「F・D1」二者を有機的に結び附けるその型(E)の有無を示したものである。

C(神・歴史=時間的全體):C'(場)

①C' 西歐近代(『醒めて』『日本および』P192)。

②C' 西歐近代。

D1(關係:實在物)・・・

①近代化適應異常(D1の至小化)(『日本および日本人』P192)。

②半世紀後の更なる「近代化適應異常(D1の至小化)」。

F(言葉:潜在物)・・・

①F(近代化諸概念):近代戦F・國家主義F・個人主義F・西洋流の神F(『日本および日本人』P192)。

②F:「近代化諸概念」としての、民主主義的言語(言論の自由F・理念論争F・政策論争F)・・・つまり安倍首相の「ヤジへの應酬」用語F。及び小池代表の「排除」用語Fがそれに當たる。

E型(潜在物Fの裏に實在物D1を際立たせる型)。Fの「so called」でD1を見せる。しかし以下①②はそれが出来ない。・・・

①近代戦等(F近代化諸概念)に、「祓ひ清めて和に達する」と言ふ日本特有の型(E)で適應した爲、結果としてF①を「not so called=Eの至小化」してしまつた。(『日本および日本人』P192文概略)。

②型の摩耗(Eの至小化)。即ち文化衰退(D1の至小化)が招く、半世紀後の今日的情況・・・「形骸化した和(なあなあ主義)」と言ふ現今の價值觀(Eの至小化)は、それに敵對する、F②の近代化諸概念(F:理念論争・政策論争)をso called出來ず、それに適應異常(Eの至小化)してしまふ。結果⇒更なる近代化適應異常(D1の至小化)へ。